

第128回総合計画審議会（令和元年6月6日開催）における意見と対応

No	委員	意見	対応	頁
[プロジェクト編]				
1	金子委員	柱Ⅰ「健康長寿」の柱に「障がい児・者」が含まれているが、ダイバーシティの考え方が大きく変化してきている。柱Ⅰに位置付けていても構わないが、KPIを見ると雇用や理解促進など柱Ⅳ「ひとのチカラ」にも関連性があると思うので、そのような記述を加えてはどうか。	第3期実施計画(案)の記載を修正・追加しました。 ※柱Ⅰの扉に追記 →誰もが <u>その人らしく</u> 笑って生き生きと暮らし、健康で長生きできる神奈川を実現します。	10
2	金子委員	柱Ⅱに「農林水産」がある。SDGsなど関連付けた場合、神奈川県ならではの、都市型農業の発展のあり方を追求していくことも重要ではないか。その点では、柱のⅤにもつながるのではないか。	(PJ21「自然」で里地里山の保全について、PJ18「地域活性化」では農業体験などを通じた多様な交流機会の創出などについて記載していることを6/6の総計審で説明済み)	28 29
3	柏木委員	PJ8「農林水産」の「かながわ認証木材の安定利用を図るため」という点について、広がりを見せる工夫ができないか検討してほしいと担当部に伝えて欲しい。	環境農政局に伝達	29
4	丸山委員	プロジェクトを見開き2ページで見た際に、左上に写真が掲載されていることは、プロジェクトのねらいが伝わりやすくて良いと思う。しかし、PJ11「安心」の「安全・安心キャンペーン」の写真については再考願いたい。	第3期実施計画(案)の記載を修正・追加しました。 ※「安全・安心キャンペーン」の写真のキャプションを変更 【旧】安全・安心キャンペーンの取組み 【新】防犯意識の向上に向けた取組み	36
5	河野委員	PJ20「協働連携」主にNPOに注目した記載となっているが、これまで県は産学連携なども行っていると思われる。もう少し幅広く、県の果たす役割として、異なる言葉や文化、異なる主体を連結させるといったプラットフォームの役割を果たすということをより強く書いてもらう方が伝わるのではないか。	(P.5「計画策定の主な背景」に記載していることを6/6の総計審で説明済み)	58 59
6	丸山委員	70・71ページの表で、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」に「○」が付いていない理由がないのではないか。	(直接関連するものに「○」を付けていることを6/6の総計審で説明済み)	70 71

No	委員	意見	対応	頁
7	小林委員	91ページのESGという言葉は分かりにくいという思うので、注釈が必要ではないか。	第3期実施計画(案)に、既に記載しています。 ※PJ20「協働連携」(P.59)	91
8	小林委員	予算などの財政面の観点も重要である。	第3期実施計画(案)に、既に記載しています。 ※「行政をとりまく状況」(4)財政状況等を勘案した自治体経営	147
9	柳瀬委員	県民ニーズ調査の中には、0.数パーセントの差を目標として掲げているものもある。誤差が3パーセント程度である中、そのような数値を目標として掲げることに意味があるのか。	(現状維持をめざすものもあるが、少しでも、より高い数値をめざして設定していることを6/6の総計審で説明済み)	全体
10	清家会長	SDGsは世界各国の課題解決のためのものであり、全てが神奈川県に通ずるものではない。そのうちのどれが神奈川県に通ずるものなのか、神奈川県ではどこが大切なかを把握することが重要である。	ご意見については、参考とさせていただきます。	全体
11	清家会長	SDGsは、多様な主体がゴールに向かってどのように進んでいくのかということが大事であり、ゴールに向かって進んでいく中で、方法が変わっていくことも想定されます。そのような考え方が反映されていて良いと思います。	ご意見については、参考とさせていただきます。	全体
〔主要施策・計画推進編〕				
12	小林委員	SDGsの観点を踏まえ、様々な指標をクロスさせる手法なども評価に当たっては取り入れてほしい。	第3期実施計画(案)の記載を修正・追加しました。 ※「計画の進行管理」に追記→「政策のマネジメント・サイクル」では、……総合的に評価します。また、SDGsを座標軸とした検証を行います。	65
13	柏木委員	資料2の計画の進行管理にSDGsの視点を取り入れることを追記してはどうか。		